

木更津工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)		授業科目	経済学B	
科目基礎情報							
科目番号	0162		科目区分		一般 / 必修選択		
授業形態	授業		単位の種別と単位数		学修単位: 2		
開設学科	電子制御工学科		対象学年		4		
開設期	後期		週時間数		2		
教科書/教材	福山・照山著『マクロ経済学・入門 第5版』有斐閣、2016年						
担当教員	武長 玄次郎						
到達目標							
日本と世界を取り巻く経済状況は、年々不安定さを増している。それについて、理論と実際の両面から理解できるようにすることが目標である。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安(優)		標準的な到達レベルの目安(良)		未到達レベルの目安(不可)		
評価項目1	日本経済の現状と問題点を把握し、分かりやすく説明できる。		日本経済の現状と問題点をある程度理解できる。		日本経済の現状と問題点を十分理解できない。		
評価項目2	日本経済と世界の関わりを多角的に説明できる。		日本経済と世界の関わりを説明できる。		日本経済と世界の関わりを説明できない。		
評価項目3	日本経済の状況を自分の将来の問題と関連づけて考え、何らかの解決策を案出できる。		日本経済に関する自分の考えを提示できる。		日本経済に関する自分の考えを説明できない。		
学科の到達目標項目との関係							
準学士課程 1(2) JABEE A-1							
教育方法等							
概要	日本経済の取り巻く問題点を理解し解決策を探る。						
授業の進め方・方法	講義形式で進め、適宜映像教材を用いる。						
注意点	授業90分に対して、教科書や授業中に伝える教材等で同じ時間予習と復習を行う。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	経済対策の必要性		経済対策がなぜ必要か、その効果について理解できる		
		2週	景気循環		景気循環を理論的に理解できる		
		3週	財政問題		日本の財政問題の深刻さを理解できる		
		4週	国債の歴史		国債問題を長期的、歴史的に理解できる		
		5週	インフレの歴史		インフレの問題点を世界的・歴史的に理解できる		
		6週	デフレのもたらすもの		デフレの悪影響を、日本や世界の実態に即して理解できる		
		7週	世界金融危機		世界金融危機の原因と影響を理解できる		
		8週	失業問題		日本の失業問題の現状を理解できる		
	4thQ	9週	世界の貧困		世界の貧困問題の深刻さを理解できる		
		10週	女性・老人と労働市場		女性と高齢者にとっての労働市場を理解できる		
		11週	経済成長理論		何が経済成長をもたらすのか、国際経済の見地から理解できる		
		12週	先進国と途上国		先進国と途上国の格差の問題について理解できる		
		13週	為替レート		経済を左右する為替レートの決定条件を理解できる		
		14週	国際通貨制度		国際通貨制度の歴史と現状について理解できる		
		15週	世界経済と日本経済の将来		日本および世界経済の将来について展望できる		
		16週	まとめ				
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	50	0	0	0	50	100
基礎的能力	0	30	0	0	0	20	50
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	20	0	0	0	30	50